

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年10月28日

計画の名称	土砂災害防止法に基づく基礎調査の推進（防災・安全）														
計画の期間	平成 3 1 年度 ~ 令和 0 5 年度 (5年間)											重点配分対象の該当	○		
交付対象	富山県														
計画の目標	土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等の基礎調査および指定を推進し、住民に土砂災害の危険性を早期に周知するとともに、避難判断の充実・強化につなげることで土砂災害から人命を保全し、安全で安心な地域づくりを行う。														
全体事業費（百万円）		合計（ A + B + C + D ）		3	A	3	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初	H32末	H35末
1	施設整備の完了した箇所等での土砂災害警戒区域等の見直し基礎調査を、平成 3 1 年度から平成35年度までに72箇所実施する。			
	施設完了等に伴う見直し基礎調査箇所数	0箇所	箇所	72箇所

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
その他総合的な治水 事業	A08-001	総合治水	一般	富山県	直接	富山県	基礎調 査	-	黒部川圏域基礎調査事業	基礎調査	黒部市ほか	■					2		-
		R2から一般計画へ移行																	
	A08-002	総合治水	一般	富山県	直接	富山県	基礎調 査	-	常願寺川圏域基礎調査事 業	基礎調査	中新川郡立山町 ほか	■					1		-
		R2から一般計画へ移行																	
	A08-003	総合治水	一般	富山県	直接	富山県	基礎調 査	-	神通川圏域基礎調査事業	基礎調査	富山市ほか	■					0		-
		R2から一般計画へ移行																	
	A08-004	総合治水	一般	富山県	直接	富山県	基礎調 査	-	庄川圏域基礎調査事業	基礎調査	高岡市ほか	■					0		-
		R2から一般計画へ移行																	
	A08-005	総合治水	一般	富山県	直接	富山県	基礎調 査	-	小矢部川圏域基礎調査事 業	基礎調査	南砺市ほか	■					0		-
R2から一般計画へ移行																			
										小計						3			
										合計						3			

事後評価	
○ 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
富山県土木部砂防課	令和7年10月
	公表の方法
	富山県ホームページ
○ 事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	H31交付予算にて、砂防関係施設の整備が完了した箇所等での土砂災害警戒区域等の見直しを行い、当該区域における警戒避難体制の確保等が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○ 特記事項（今後の方針等）	
本県は地形が急峻で脆弱な地質が広く分布していることから、急流荒廃河川等が多く、土砂流出による土砂災害が近年においても多発している。 今後もハード整備と併せてソフト対策を一体的に推進することにより、県民の安全・安心の確保に努める。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	72箇所	R2から基礎調査事業を一般計画へ移行したため。
	最 終 実績値	5箇所	